

国立国語研究所学術情報リポジトリ

日本語学習者の作文における外来語の使用実態の考察：中国語母語話者の縦断コーパスの分析を通じて

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 国立国語研究所 公開日: 2024-07-12 キーワード (Ja): 中国人日本語学習者, 学習者コーパス, 作文教育, 外来語, 語彙選択 キーワード (En): CJL learners, learners' corpus, writing education, gairaigo, vocabulary selection 作成者: 呉, 梅 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/0002000275

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial 4.0 International License.



日本語学習者の作文における外来語の使用実態の考察

——中国語母語話者の縦断コーパスの分析を通じて——

呉 梅

明治大学大学院 博士後期課程 / 国立国語研究所 共同研究員

要旨

本稿は、中国語母語話者の作文の縦断データを用いて、外来語の使用実態を分析し、習得過程の一端を解明するものである。中国国内の学部入学後の1年次、2年次、3年次計9回の作文を分析した結果、次のことがわかった。

- ①学習歴が上がるにつれて、作文における外来語の延べ語数と異なり語数が増加している。
- ②学習歴が上がるにつれて、外来語の意味領域の面で、使用特徴に変化が見られる。
- ③ジャンル別に見ると、外来語の延べ語数と異なり語数に関わらず、外来語使用が最も多いのが説明文で、次いで体験文、最も少ないのが意見文である。
- ④どのジャンルにおいても、使用される外来語は、作文のテーマに関連している*。

キーワード：中国人日本語学習者、学習者コーパス、作文教育、外来語、語彙選択

1. はじめに

日本語は漢語・和語・外来語・混種語に大別される。これまでの大規模な語彙調査により、その中でも外来語の使用が増え続ける傾向にあることが明らかにされている（国立国語研究所 1964, 2017, 橋本 2008）。それに伴い、「外来語言い換え提案」が提唱されるほど、外来語は注目を集めてきた。このため、日本語を母語としない学習者にとっても、外来語は重要で学習すべき語になると考えられる。一方、日本語教育での外来語教育をめぐる実態はどうなっているのだろうか。陣内（2008）の調査からわかるように世界各国の日本語学習者、特に中国人日本語学習者は外来語に苦手意識を持っており、外来語の適切な指導が求められている。

外来語の研究は漢語・和語ほど充実していないが、外来語の量的推移に着目したもの（橋本 2008）、外来語の基本語化に着目したもの（金 2009）をはじめ、多数存在する。一方、学習者の外来語の習得に関する研究は多いとは言えず、外来語の表記、アクセントなどの形態的な特徴の習得に関する内容が主流であった（戸田 1999 など）。学習者コーパスを利用して、学習者の使用状況を分析した研究は、羅（2010）、鄧（2018）などの一部の研究を除き、あまりなされていない現状がある。

教育現場に効果のある指導方法を提示するために、まず、学習者はどのように外来語を使用す

* 本研究は、国立国語研究所の共同研究プロジェクト「多様な言語資源に基づく日本語非母語話者の言語運用の応用的研究」のサブプロジェクト「日本語学習者の作文の縦断コーパス研究」（ともにプロジェクトリーダー：石黒圭）およびJSPS 科研費JP21H04417の研究成果の一部である。また、本稿の内容は2023年3月7日の第246回NINJALサロンにおける同タイトルの口頭発表をもとに執筆したものである。

るのか、各学習段階でどのような使用特徴があるのか、相当数の人数のデータを用いて分析する必要があると思われる。

そこで、本研究では中国人日本語学習者の作文における外来語の使用実態を分析し、学習歴および作文のジャンルによる、外来語使用の変容とその要因を考察していきたい。

2. 先行研究

2.1 外来語の定義

荒川（1943）では、外国語の意味だけを日本語に翻訳したものを「翻訳語」、外国語の音形をそのまま日本語に置きかえたものを「外来語」と言う。例えば、「computer」を「電子計算機」と訳したものが翻訳語であり、「コンピュータ」が外来語である。

また、語源によると、広義には漢語も外来語に含まれるが、狭義には主として欧米諸国から入ってきた語を言う（石綿 2001）。本稿は、石野（1983）の定義に従い、①欧米系の語（和製語の類も含む）由来、②近代・現代の中国語由来、③通常カタカナによる表記という三つの条件のうち、①または②、かつ③を満たす場合、外来語だと認定する。なお、本研究で用いたデータでは、「ピビンバ」のような他の言語由来のものが少数ながら存在するため、研究対象語として数えた。

2.2 コーパスを使用した外来語の使用状況

コーパスを使用した外来語の使用状況についての研究は数が少なく、縦断データを用いた羅（2010）と横断データを用いた鄧（2018）くらいである。羅（2010）では台湾の日本語学習者3名を対象に、1年生から4年生にかけての3年半に書いた33回の作文を資料として、その中のカタカナ語を抜き出し、使用状況を（1）延べ語数・異なり語数、（2）日本語化による分類、（3）教科書で出ているカタカナ語との比較、（4）誤用という四つの面から検討している。その結果、3名の学習者のカタカナ語の使用数にある程度の個人差がある一方、作文におけるカタカナ語の出現率が共通して低く、語彙量が大幅には増えないこと、副詞化したカタカナ語、単語の前半省略のカタカナ語は学習歴が長くなっても全く使われず、混種語以外のカタカナ語の使用が少ないこと、教科書にあるカタカナ語彙は使うものの、学習歴によっては使用比率が低くなること、誤用は全般的に多くはないが、表記の間違い、語彙選択の間違い、文法関係の間違いなどが見られ、学習歴による何らかの変化が特に観察されないことが明らかにされている。

鄧（2018）は、「多言語母語の日本語学習者横断コーパス」(I-JAS)の対話タスクを用い、中国人日本語学習者の外来語の使用状況を考察したものである。具体的には、（1）延べ語数・異なり語数、（2）使用語彙レベル、（3）誤用数、（4）上位語の一致率の観点から、各習熟度での中国語・韓国語・英語母語話者と日本語母語話者との比較をしながら分析を行っている。その結果、習熟度が上がっても外来語使用量は必ずしも増加しておらず、むしろ減少していること、語彙レベルについては、若干ではあるが、習熟度が上がると高くなること、誤用数は中級後半以降減少すること、上位語10語も中級後半になると、日本語母語話者の70%近くまで近接することが明らかにされている。

2.3 本稿の位置付け

これまで外来語の使用を扱った研究が少なく、特に作文における外来語の習得過程については3人のデータを扱って分析した羅 (2010) の研究しかないため、学習者がどのように外来語を使用するのか、また、その使用はどのように変化するのが明らかになっていない。また、作文と言っても、「意見文」「説明文」などの多様な種類があり、ジャンルごとに、外来語の使用に違いがあるのではないかと予想される。そこで、本稿は多人数の作文の縦断データを用いて、質的観察に基づき、外来語の使用実態を細かく分析し、外来語の習得過程を明らかにすることを旨とする。

3. 研究目的・課題

本稿は作文の縦断データを用いて、外来語の使用実態を分析し、学習歴による使用変化とその要因を考察し、中国人日本語学習者の外来語の習得の一端を明らかにすることを目的とする。研究課題は以下の三つである。

- 課題1 学習歴の違いにより、外来語の使用語数はどのように変化するのか
- 課題2 学習歴の違いにより、外来語使用の特徴はどのように変化するのか
- 課題3 作文のジャンルにより、外来語の使用はどのように変化するのか

4. 研究方法

4.1 分析の対象

分析に用いたのは、国立国語研究所のプロジェクトで現在構築中である日本語学習者縦断作文コーパス (W-CoLeJa) である。このコーパスは、中国、台湾、韓国、ベトナムの複数の大学の日本語学習者約600名 (開始時) を対象に継続的に収集されているものである。作文調査は、大学入学時から1年間に3回、4年間で計12回実施され、各学年の3回のテーマは異なるものの、その3回と同じテーマが4年間繰り返される。

本稿では、中国人日本語学習者の習得過程を見るために、中国G大学の日本語専攻の学習者のデータを分析する。調査開始時は、55名が参加しているが、6回の調査までに5名が辞退している。また、入学時点で日本語学習歴のある者も5名含まれている。そのため、入学時点から日本語学習を始めた45名の日本語学習者を本稿の分析対象とした。

また、学習歴の違いによる外来語の使用実態を比較して調査するために、時間軸に沿って継続して扱われている主題を選んだ。1年生の1年次前半の「思い出の旅行」(体験文)、1年次中間の「行きつけの店」(説明文)、1年次後半の「過去と未来」(意見文) と、同じ主題で書かれた2、3年生のそれぞれ3回の作文、計9回 (405本) の作文データを分析する。分析対象は表1に示す。なお、1年次の調査は年度途中に開始したため、1年次の前半および中間の調査実施月は、2、3年次と異なる。

表1 分析対象

学習段階	実施時期	作文主題	字数
1年次前半	2021年3月	思い出の旅	下限200字, 目安400字
1年次中間	2021年5月	行きつけの店	下限200字, 目安400字
1年次後半	2021年6月	過去と未来	下限200字, 目安400字
2年次前半	2021年11月	思い出の旅	下限400字, 目安800字
2年次中間	2022年3月	行きつけの店	下限400字, 目安800字
2年次後半	2022年6月	過去と未来	下限400字, 目安800字
3年次前半	2022年11月	思い出の旅	下限800字, 目安1200字
3年次中間	2023年3月	行きつけの店	下限800字, 目安1200字
3年次後半	2023年6月	過去と未来	下限800字, 目安1200字

また以下は、調査の実施にあたって学習者に提示された作文の主題および指示文の内容を示すものである。

- ①思い出の旅：あなたの思い出に残っている旅行はどんな旅行でしたか。教えてください。
- ②行きつけの店：あなたがよく行く店はどんな店ですか。行ったことがない人に紹介してください。
- ③過去と未来：もしあなたが、①5年前の自分に1時間会える、②5年後の自分に1分間会えるとしたら、①と②のどちらに会いに行きますか。理由も書いてください。

4.2 分析の手順

具体的な分析手順は以下の通りである。

- ①作文テキストの形態素解析 (python3.9, unidic-cwj-3.1.1, MeCab) を行い、作文データを Excel に出力する。
- ②作文データの総語数を1年次, 2年次, 3年次という学習段階ごとに集計する。
- ③それぞれの作文で使用された外来語を1年次, 2年次, 3年次という学習段階ごとに集計する。
- ④③から、外来語の延べ語数の調整頻度 (PMW) を計算する。計算式は以下の通りである。

$$\text{延べ語数の調整頻度} = \text{延べ語数の粗頻度} \div \text{語数合計} \times 1,000,000 \text{ 語}$$
- ⑤学習段階ごとの外来語使用の特徴の変化を記述すると同時に、変化の理由を考察する。
- ⑥同様の方法で、ジャンルごとに、使用された外来語を集計し、使用特徴を考察する。

5. 課題1の結果と考察

まず、中国人日本語学習者の作文データの延べ語数と異なり語数は、表2の通りである。

表2 中国人日本語学習者各年次の作文データの語数¹

学習段階	延べ語数	異なり語数
1年次	26,238	1,862
2年次	42,923	3,051
3年次	65,068	4,209

続いて、中国人日本語学習者の外来語の使用語数について確認する。学習者における1年次、2年次、3年次の外来語の使用語数は次の表3に示す通りである。[]内は、延べ語数の100万語当たりの調整頻度（PMW）である。学年別作文データの語数が異なるため、外来語の使用語数を比較する際に、学習者作文データで実際に出現した粗頻度ではなく調整頻度で比較を行う。

表3 中国人日本語学習者各年次の外来語の使用語数²

学習段階	外来語		作文総語数	
	延べ語数	異なり語数	延べ語数	異なり語数
1年次	495 [17,490]	151	26,238	1,862
2年次	752 [17,680]	277	42,923	3,051
3年次	1,471 [22,607]	496	65,068	4,209

表3からわかるように、作文における外来語の出現回数が多いとは言えない。さらに、各年次における外来語の延べ語数について、使用回数を比較したところ、カイ二乗検定において1%水準で有意差が認められた ($\chi^2(2)=34.910, p<.01$)。残差分析の結果、1年次と2年次には有意な違いはなく、3年次が他の二つの年次と比べて有意に得点が高くなる ($\chi^2(1)=29.547, p<.01$; $\chi^2(1)=9.377, p<.01$)。つまり、日本語を学習する3年目に入ると、外来語の使用は増加するという傾向が見られる。学年の上昇につれて、習得された語彙の数が多くなり、作文に現れると考えられる。

一方、各年次における外来語の異なり語数についても1%水準で有意差が認められた ($\chi^2(2)=24.453, p<.01$)、3年次の間に、作文に現れた外来語の異なり語数に差が生じることがわかる。なお、残差分析の結果、1年次と2年次には有意な違いはなく、3年次が他の二つの年次と比べて有意に得点が高くなる ($\chi^2(1)=21.152, p<.01$; $\chi^2(1)=12.985, p<.01$)。これは、鄧 (2018) の結果と一致しておらず、対話データと異なり、作文における外来語の使用語数は、学習歴が上がるにつれて増加している。理由としては、実際の学習者の作文を質的に観察してみると、学習歴が上がるにつれて、一つの作文において同じ外来語を反復使用する人数が減少し、代わりに異なる種類の外来語を使って作文を書く学習者が増加することがわかる。つまり、学習者は、外来語語彙のバリエーションを広げながら、外来語を使う能力を向上させていく様子が窺える。例(1)で、

¹ 量的傾向を把握するため、形態素解析器に付された短単位を採用し、語数を数える。作文の延べ語数と異なり語数は、形態素分析後のデータを用いて、筆者が計算したものである。具体的には、空白、記号、ローマ数字、未知語を削除して、「語彙素」列を選び、ピボットテーブルで語の延べ語数と異なり語数を数えた。
² 語種を「外」に設定し、外来語の定義に従い、手作業で外来語であるか、誤解析があるかを確認し、数を計算する。

観察された現象を表す（以下、「学習者 ID_学習段階」で表す。下線は筆者の付記である）。

例 (1)

CCG014_2 年次中間：行きつけの店

記憶の中のあの店、優しくてほろほろで、灰色の壁にまみれて、土色の床、物がいっぱい詰まれた戸棚、ボスの親切な笑顔、すべて、どんなに暖かくて、どんなに忘れられません。今、あの店はもう開店していないので、古いせいか、あの店は一度も貸したことがない。街には、あの店だけがしまっていて、寂しくて、寂しいです。子供の頃、私はよくそこへ買い物に行きました。戸棚は四つしかありません。5階あります。各階には15個の商品が固定されています。店はとても小さくて、ドアの向こうは小さなドアで、ボスは中に住んでいます。その小さなドアの後ろは寝室です。時間が飛ぶように過ぎ去っていく、周りの店の内装の装飾、移転の移転、賃貸の賃貸、あの店だけが、まだそこに立っていて、開いたことがないようです。ドアはすでにとても破れて、いくつかの小さい穴が現れて、小さい穴を通して、かすかに中の置物を見て、まだ以前と同じで、まだ4つの戸棚で、ただ、戸棚の上の品物はすでに空になって、あの木の椅子も行方がありません。思い出、青空を見上げて、その記憶は振り切れない。

CCG014_3 年次中間：行きつけの店

暑い夏によく行く喫茶店に座ってエアコンをふいてキーボードを叩いていた。突然誰かがドアを押して「ボス、一杯相変わらず、お持ち帰ります。」と叫んだ。「よし、受け取った。」カフェをよく利用する私には、このような会話をよく耳にします。このようなストーリーは異なる都市のあなたたちのそばにあると信じて、よくあるはずです。多くの友人が空間の質を重視する人だと信じています。第三空間とは社交の場所です。授業が終わった後や休みの日には、レストランをぶらぶらするのがすくです。マシンポイントの特徴があるカフェの方が、弓を吸って何度も足を運びやすいと思います。第一に親和性と人間味がある。親和性というかサービス態度であり、殺傷力の大きい武器である。二番目はバリスタや店長と話ができます。カフェは実際には総合体であり、生活の宿場とも言える。多くの友人が経験したことがあると思います。「なかなかいいカフェを通った時。暑くて携帯電話の電源が切れそうだったので、試してみようと思って入って電気を借り、ついでにエアコンとネットをぐずぐずして、次に一番安いコーヒーを注文して飲んだ。そして知らないうちに、バリスタや隣の客に話し箱をあげられて...そして徐々に常連客に発展していた。第三の共鳴。カフェはお客様と自分の店の間の記憶点、特にコミュニティ型の小さな店を作るために小さなことをする必要があります。必要に応じて経営に関係のないサービスを負担し、適切な挙手の労をできるだけ拒まないようにする。

6. 課題2の結果と考察

本節では、1年次、2年次、3年次の作文における外来語使用の特徴の変化を分析する。分析結果に入る前に、本節における外来語の計算方法を説明する。外来語の使用実態のありのままを

記述するため、「アイスクリーム」のような複合語を短単位の2語として認識せず、長単位の1語として認識し、計算する。具体的には、5節で分析した外来語の語数をめぐる形態素解析器の結果をベースにしつつ、実際の作文の文脈に出現する外来語を抽出し、筆者が手作業で再計算を行った。再計算された外来語の語数は以下の表4に示した通りである。

表4 各年次の外来語の使用語数 (長単位)

学習段階	外来語	
	延べ語数	異なり語数
1年次	464	163
2年次	554	275
3年次	858	361

3年間の作文にある外来語使用の特徴を詳しく質的に分析するために、1年次、2年次と3年次の作文に出現した外来語および外来語が含まれた混種語の一覧を示す。次の表5の通りである。

表5 各年次における外来語の使用：使用頻度2回以上 ()内は使用回数
・1年次の外来語使用

ミルクティー (22)	スーパー (6)	コロナウイルス (2)	パン屋 (2)
コーヒー (18)	ストレス (6)	ジャージャーめん (2)	ビーチ (2)
チャンス (15)	バスケットボール (6)	ジャンル (2)	ビル (2)
ケーキ (14)	北京ダック (6)	シンプル (2)	プレゼント (2)
コンビニ (14)	ジュース (4)	スープ (2)	ポスターキャンパス (2)
ラーメン (14)	ステーキ (3)	スマホ (2)	香港風ティーレストラン (2)
レストラン (14)	スナック (3)	タクシー (2)	ミス (2)
ゲーム (12)	デザイン (3)	タビオカ (2)	メッセージ (2)
タイムマシン (12)	ビビンバ (3)	タレント (2)	友誼レストラン (2)
バス (11)	インスタントラーメン (2)	ダンス (2)	ライオン (2)
ケーキ屋 (10)	エスエフ (2)	チョコレート (2)	ラッキー (2)
ホテル (9)	エリア (2)	テスト (2)	リラックス (2)
アドバイス (8)	ガイド (2)	猫カフェ (2)	ルームメイト (2)
ハンバーグ (8)	カラオケ (2)	パイナップルパイ (2)	ロボット (2)
クラスメート (7)	キャンパス新聞 (2)	パフォーマンス (2)	
キャンパス (6)	牛肉チャーハン (2)	林家レストラン (2)	

・2年次の外来語使用

ホテル (20)	デパート (4)	タイムマシン (3)	アドバイス (2)
コーヒー (17)	テレビ (4)	タクシー (3)	カウンター (2)
ミルクティー (15)	ポテトチップス (4)	チキン (3)	キャンセル (2)
サービス (13)	マスク (4)	チャンス (3)	広州タワー (2)
コロナ (11)	ミルクティーショップ (4)	ティラミス (3)	コンビニ (2)
ドア (9)	石鍋チキン (3)	デザートショップ (3)	サボテン (2)
リラックス (9)	インスタントラーメン (3)	デザイン (3)	シャワー (2)
ケーキ (8)	ウイルス (3)	ネット (3)	新型コロナウイルス (2)
スーパー (8)	エリア (3)	ハンバーグ (3)	シンプル (2)
タイムマシーン (7)	カフェ (3)	ピアノ (3)	ターンテーブル (2)
ノート (7)	観光スポット (3)	ブラックコーヒー (3)	チケット (2)
バス (7)	観光バス (3)	フレーバー (3)	デザート (2)
パン (7)	ケーブルカー (3)	プレゼント (3)	ハグ (2)

アイスクリーム (6)	ゲーム (3)	北京ダック (3)	ハローワールド (2)
パンダ (6)	コーナー (3)	ペンション (3)	ハンバーガー (2)
レストラン (6)	コンクール (3)	ベンチ (3)	ポスト (2)
アルバイト (4)	サラダ (3)	マルチパス (3)	ポスター (2)
インターネット (4)	ショート (3)	ミックス (3)	マッサージ館 (2)
ガイド (4)	ショック (3)	メーデー (3)	ラーメン (2)
クラスメート (4)	スイーツ (3)	ルームメイト (3)	ロープウェイ (2)
コントロール (4)	スーパーマーケット (3)	ルームメート (3)	ロマンティック (2)
ストレス (4)	スープ (3)	ルール (3)	
タイムスリップ (4)	スタイル (3)	レトロ (3)	
デザート (4)	ストープ (3)	アイデア (2)	

・3年次の外来語使用

コーヒー (31)	メニュー (5)	アニメ (2)	タイムトラブル (2)
コロナ (24)	ラーメン (5)	アレンジメント (2)	タピオカ (2)
スーパー (21)	アルバイト (4)	インスタントラーメン (2)	チケッ (2)
レストラン (18)	イベント (4)	インターネット (2)	ディスコミュニケーション (2)
アドバイス (17)	キャンプ (4)	インド (2)	テレビ (2)
リラックス (16)	グルメ (4)	エアコン (2)	テント (2)
ゲーム (15)	コミュニケーション (4)	ガイド (2)	ドッグパーク (2)
ホテル (14)	コメント (4)	カップル (2)	トマト (2)
テーブル (13)	コンクール (4)	カテゴリー (2)	トラブル (2)
バス (13)	スキル (4)	カフェスペース (2)	ドリンク (2)
ルームメイト (13)	バッグ (4)	キッチン (2)	ニーズ (2)
カフェ (12)	ハンバーガー (4)	キャラクター (2)	ネット (2)
サービス (12)	ビル (4)	キューブ (2)	パーティー (2)
テーマ (12)	プロセス (4)	キロ (2)	ハード (2)
クラスメート (10)	アトラクション (3)	グール (2)	バーベキュー (2)
コンビニ (10)	アプリ (3)	クラス (2)	バタフライ (2)
ケーキ (9)	アメリカ (3)	クラスメイト (2)	バリスタ (2)
ミルクティー (9)	イメージ (3)	ケーブルカー (2)	パン屋 (2)
ストレス (8)	エリア (3)	コイントス (2)	ピアノ (2)
チャンス (8)	オーナー (3)	コップ (2)	ピーチ (2)
コロナウイルス (7)	ガラス歩道橋 (3)	サイン会 (2)	ピーナッツ (2)
タイムマシン (7)	クルーズ (3)	シャワー (2)	プリンミルクティー (2)
ガラス (6)	コントロール (3)	ジャンル (2)	プレゼント (2)
キャンパス (6)	シーン (3)	シュノーケル (2)	北京ダック (2)
スープ (6)	シンプル (3)	ショッピングセンター (2)	ポイント (2)
ドア (6)	スイーツ (3)	スイーツショップ (2)	ボランティア (2)
パン (6)	デパート (3)	スーパーマーケット (2)	マイナス (2)
パンダ (6)	トレンド (3)	スカート (2)	メモ (2)
牛肉スープ (5)	パクチー (3)	スタイル (2)	モチベーション (2)
ケーキ屋 (5)	ヒント (3)	ストーリー (2)	モデル (2)
シェア書店 (5)	ベッド (3)	ストーリーブック (2)	ラーメン屋 (2)
タイムスリップ (5)	ホワイトカラー (3)	スピード (2)	ライトミール (2)
タイムマシン (5)	メッセージ (3)	ソーセージ (2)	リフレッシュ (2)
デザート (5)	リズム (3)	タイプ (2)	レベル (2)
ドラマ (5)	緑豆スープ (3)		
メートル (5)	レモン汁 (3)		

1年次, 2年次, 3年次の作文に使用される使用頻度2回以上の外来語は, 学習歴が長くなるにつれて, 使用回数が増加している。それぞれの外来語の使用を分析すると, 3年間の作文における外来語は, 「場所」(例: ホテル, レストラン, コンビニなど), 「食品」(例: コーヒー, ケー

キ、ラーメンなど)、「交通手段」(例：バスなど)などのカテゴリーが数多く出現している点で共通している。例(2)は、学習者が書いた3年間の作文からの引用で、上記の外来語が度々出現している様子が窺える。

例(2)

CCG001_1 年次前半：楽しい旅行

私たちは西安のすばらしいホテルに住みました。そのホテルには OHP があります。

CCG013_1 年次中間：ハンバーグの店

私はハンバーグを食べることがとても好きですが学校の中ではハンバーグの店がありません。

CCG020_2 年次前半：忘れられない旅

その朝、私たちはバスに乗って、数時間後に南京に着いた。

CCG003_2 年次中間：思い出す喫茶店

店によってコーヒーにはそれぞれの好みがあります。

CCG051_2 年次後半：過去の遺憾

ある日、「タピオカとパンを買ってくれない」と言って、母が「いいよ」と返事したのに、最後忘れてしまった。

CCG007_3 年次前半：旅行へ

七月に、高校生の時からの友達と一緒に海へ行きました。この海は家から近くて、バスで一時間ぐらいかかります。

CCG019_3 年次中間：行きつけの店

わたしはよくコーヒーを買ってそのエリアに座って本を読みました。

CCG017_3 年次後半：五年前の自分と出会えたら

もし五年前の自分に会ったら、きっとそのミルクティーを飲んだ夜について話す。

上記では、3年間に多く出現した外来語の共通点を述べたが、相違点としては、学習歴の違いによる使用特徴の変化として以下の2点が観察された。1) 外来語使用のカテゴリーは、学習歴が長くなるにつれて、ある程度の広がりを見せること、2) 同じカテゴリーに属する外来語でも、学習歴が上がるにつれて、当該のカテゴリーに新しい外来語が出現することである。

前者については、例えば2,3年次になると、「コロナ」「マスク」「ウイルス」「コロナウイルス」といった現在の社会背景を反映する外来語が頻繁に使用されるようになる。その他、電化製品である「テレビ」「ストーブ」、IT業界用語の「ネット」「ハローワールド」「トレンド」、家具に関する用語「ドア」「テーブル」、動物の「パンダ」「バタフライ」、形容詞性質を持つ「シンプル」「ロマンティック」、動詞性のある「コントロール」「ハグ」「リラックス」「リフレッシュ」「アドバイス」などの外来語の使用も増える傾向が見られた。特に、3年次の外来語使用については、書籍の「ストーリーブック」、服の「スカート」、音楽の「リズム」など、新たなカテゴリーでの出現が顕著であった。同じテーマであっても描写の質が変化したことが看取できる。例(3)は、2,3年次の作文から抽出した例文で、新たなカテゴリーで用いられた外来語の一部である。

例 (3)

CCG021_2 年次中間：私の好きな店

このような店はまだまだたくさんあって、コロナが過ぎた後に私が多くいくつかの店に行きて美食を食べることができることを望みます。

CCG028_2 年次前半：一番思い出の旅行

テレビだけに見た動物たちが自分の目で見られて新鮮だと思います。

CCG022_2 年次中間：私の一番好きな店

この店は二階建てで、全体のデザインが中国風で、テーブルとイスがすべて木製です。

CCG004_3 年次前半：もう一回旅に行こうではないか

焼き小籠包はビリビリというアプリでフォローした人が投稿してくれた動画の中出てきた店に行きたいんです…

CCG009_3 年次中間：行きつけの店—天興教育スーパー

すると、私がいったとおり、商品は大ヒットしました。

CCG010_3 年次後半：未来に出会う

顔を上げると、机のそばに白いスカートをはいた女性がすわっていたのを見て、彼女私を見て少し驚いたが、すぐに笑った。

一方、学習歴が長くなるにつれて、同一カテゴリー内部の外来語でも、使用される語の種類が多くなる。それは、学習者の日本語能力が上がるとともに、語彙の広さだけでなく、語彙の深さに関わる能力を獲得していっているという一つの証左である。

以下の表 6、7 に基づき、課題 2 (p.3) の特徴について説明する。まず、3 年に亘り頻繁に出現した「場所」のカテゴリーを取り上げて説明を行う (表 6)。

表 6 各年次における「場所」外来語

1 年次	エリア キャンパス ケーキ屋 コンビニ スーパー 猫カフェ	林家レストラン パン屋 ビーチ ビル ポスターキャンパス ホテル	香港風ティーレストラン 友誼レストラン レストラン (合計：15 語)
2 年次	エリア カフェ 観光スポット 広州タワー コーナー コンビニ	スーパー スーパーマーケット デザートショップ デパート ペンション ホテル	マッサージ館 ミルクティーショップ レストラン (合計：15 語)
3 年次	エリア カフェ カフェスペース ガラス歩道橋 キャンパス ケーキ屋 コンビニ	シェア書店 ショッピングセンター スイーツショップ スーパー スーパーマーケット デパート ドッグパーク	パン屋 ビーチ ビル ホテル ラーメン屋 レストラン (合計：20 語)

「場所」の外來語については、1年次と2年次の数はあまり変わらないが、3年次に入ると使用が増える。「スーパー」「レストラン」「ホテル」のような頻度の高い基本語以外にも、「シェア書店」「ショッピングセンター」「ビーチ」「ドッグパーク」などの、個別性の高い場所が現れる。

次に、やはり3年に亘り頻度の高い「食品」の外來語について、表7で例を挙げながら説明する。

「食品」の外來語については、学年が上がるにつれて使用数が増加している。とりわけ、同じ種類の食品を表す場合でも、一般的な名称しか言えなかったものが具体的な種類まで言えるようになっていく点が目を見く。例えば、「コーヒー」の場合、1年次の際、「コーヒー」しか出現がないが、2年次に入ると、「コーヒー」の下位分類「ブラックコーヒー」も産出できるようになる。「ジュース」においても、3年次になると、単なる「ジュース」ではなく、「レモン汁」のようなジュースの具体的な種類に言及するものが見られた。

また、反対に、抽象的な上位語の使い方も向上している様子が見てとれる。具象物に対応する語は使いやすい反面、抽象性の高い語は基本的な語であっても使いにくい面がある。例えば、1年次には「ケーキ」「パイナップルパイ」のような語はあるが、上位語は見あたらない。一方、2年次には「ケーキ」「ティラミス」に加えて、「デザート」のような上位語が、さらに、2、3年次には「デザート」に加えて「スイーツ」のような上位語が使われている。こうした上位語の外來語の定着も語彙力向上の一つの判断材料になるとと思われる。

表7 各年次における「食品」外來語

1年次	インスタントラーメン 牛肉チャーハン ケーキ コーヒー ジャージャーめん ジュース スープ	ステーキ スナック タピオカ チョコレート パイナップルパイ パン ハンバーガー	ビビンバ 北京ダック ミルクティー ラーメン (合計：18語)
2年次	アイスクリーム 石鍋チキン インスタントラーメン ケーキ コーヒー サラダ スイーツ	スープ チキン ティラミス デザート パン ハンバーガー ハンバーガー	ブラックコーヒー 北京ダック ポテトチップス ミルクティー ラーメン (合計：19語)
3年次	インスタントラーメン 牛肉スープ グルメ ケーキ コーヒー スイーツ スープ ソーセージ タピオカ	デザート トマト ドリンク バーベキュー パクチー パン ハンバーカー ピーナッツ プリンミルクティー	北京ダック ミルクティー ラーメン ライトミール 緑豆スープ レモン汁 (合計：24語)

上記で述べた二つのカテゴリー以外でも、似た傾向が見られる。例えば、「人物」を表す外来語については、1年次は「クラスメート」「ガイド」「メールメイト」「タレント」などの一般性の高い語であるのに対し、学習歴の伸長につれて、これら四つの外来語以外でも、「ボランティア」「キャラクター」「バリスタ」「カップル」「モデル」など、多様な観点から「人物」を描写する外来語が出現してくる。

7. 課題3の結果と考察

本節では外来語の使用傾向についてジャンル別の比較を行う。まず、ジャンルごとに、外来語の使用語数（延べ語数・異なり語数）に違いがあるかどうかを量的に確認した。その結果を次の表8のようにまとめた。5節と同様に、調整頻度（PMW）で比較する。

表8 ジャンル別に見た中国人日本語学習者の外来語使用語数

ジャンル別	外来語		作文総語数	
	延べ語数	異なり語数	延べ語数	異なり語数
体験文	835 [15,410]	237	44,310	3,938
説明文	1,554 [30,910]	450	44,530	3,721
意見文	397 [7,230]	188	44,994	2,964

表8からわかるように、作文のジャンルによって、延べ語数と異なり語数両方において、外来語の使用に差があることがわかった ($\chi^2(2)=761.354, p<.01$) ($\chi^2(2)=113.841, p<.01$)。個別に見ると、外来語の延べ語数については、説明文が最も多く、次は体験文で、意見文が一番少ない ($\chi^2(1)=219.161, p<.01$; $\chi^2(1)=164.046, p<.01$; $\chi^2(1)=714.275, p<.01$)。一方、各ジャンルにおける外来語の異なり語数については、体験文と意見文には有意な違いはなく、説明文の使用語数はほかの二つのジャンルに比べ、有意に多く出現した。 ($\chi^2(1)=86.389, p<.01$; $\chi^2(1)=63.038, p<.01$)。

このことから、外来語の使用は作文のジャンル、特に話題に関連しているのではないかと考えられる。主題が「行きつけの店」である説明文の場合、外食の話題になることが多く、店名、料理名をはじめ、外来語が増える傾向にある。これに対して、「過去と未来」という意見文は、主に自分の意見、意見を出す理由について書くものである。過去と未来のことを語る場合、外来語が必要な文脈が少なく、出現頻度もそれほど高くないと予想される。体験文の「思い出の旅」にある外来語の使用は、説明文ほど頻繁ではないが、旅行に関わる地名、交通機関などが外来語で表示されることが多い。

上記の記述から、外来語の使用はジャンルにより、偏りがあると推察できる。そのため、本稿はジャンル別に、使用頻度が2回以上の外来語を整理してそれらの使用にどのような特徴があるのかを見る。

表9 各ジャンルにおける外来語の使用 (使用頻度 2 回以上) () 内は使用回数

1) 体験文の外来語

ホテル (43)	キャンパス (4)	ミルクティー (3)	ストーリー (2)
バス (28)	クラスメート (4)	メートル (3)	タイムスリップ (2)
コロナ (24)	グルメ (4)	メッセージ (3)	タワー (2)
ゲーム (17)	スーパー (4)	ライオン (3)	チャンス (2)
パンダ (15)	ストレス (4)	レモン汁 (3)	ツアー (2)
レストラン (13)	スポット (4)	アイスクリーム (2)	ディスコミュニケーション (2)
リラックス (12)	バッグ (4)	イメージ (2)	テクノロジ (2)
北京ダック (11)	ビーチ (4)	インターネット (2)	ドア (2)
アトラクション (8)	メーデー (4)	インド (2)	ドライブ (2)
ガイド (8)	アメリカ (3)	カップル (2)	パーティー (2)
コルセア (8)	アルバイト (3)	キャンセル (2)	バーベキュー (2)
コンクール (7)	ガラス歩道橋 (3)	キューブ (2)	バイナップルバイ (2)
タクシー (7)	キロメートル (3)	クラスメイト (2)	ハンバーガー (2)
デパート (7)	クラス (3)	ケーキ (2)	フライト (2)
ケーブルカー (6)	クルーズ (3)	コース (2)	プレゼント (2)
コロナウイルス (6)	コメント (3)	コート (2)	プロセス (2)
テレビ (6)	コンビニ (3)	サファイア (2)	ペンション (2)
ビル (6)	サーカス (3)	サボテン (2)	モデル (2)
インスタントラーメン (5)	サービス (3)	ジュース (2)	ランド (2)
ガラス (5)	シャワー (3)	シュノーケル (2)	リズム (2)
スープ (5)	テーマ (3)	ショック (2)	ルート (2)
チキン (5)	テント (3)	ショッピングセンター (2)	ロープウェイ (2)
ピアノ (5)	ドラマ (3)	シンプル (2)	
アニメ (4)	パン (3)	スタイル (2)	
アプリ (4)	マッサージ (3)	スタッフ (2)	

2) 説明文の外来語

コーヒー (71)	プレゼント (5)	ホワイトカラー (3)	ソファ (2)
ケーキ (47)	オーナー (4)	メモ (3)	ターンテーブル (2)
ミルクティー (47)	ゲーム (4)	ルール (3)	タオル (2)
スーパー (33)	コミュニティー (4)	レトロ (3)	タピオカミルクティー (2)
レストラン (31)	サラダ (4)	レベル (3)	チーズ (2)
ラーメン (30)	ジュース (4)	緑豆スープ (3)	チェーン (2)
サービス (28)	ステーキ (4)	アイデア (2)	テレビ (2)
コンビニ (24)	ストレス (4)	アニメ (2)	ドッグパーク (2)
パン (20)	チャーハン (4)	アレンジメント (2)	トマト (2)
テーブル (17)	ネット (4)	イメージ (2)	パーティー (2)
ルームメイト (16)	ネットカフェ (4)	インスタントラーメン (2)	パソコン (2)
カフェ (15)	マスク (4)	エアコン (2)	バレーボール (2)
リラックス (15)	ミックス (4)	エネルギー (2)	パン屋 (2)
クラスメート (14)	メートル (4)	オープン (2)	ピーナッツ (2)
スープ (14)	ルームメイト (4)	オレンジ (2)	ピンク (2)
デザート (13)	アドバイス (3)	カート (2)	ブックカフェ (2)
コロナ (12)	インターネット (3)	カウンター (2)	ブラックコーヒー (2)
ドア (11)	キャンパス (3)	カフェスペース (2)	ブランド (2)
エリア (9)	コーナー (3)	カレー (2)	プリンミルクティー (2)
ノート (9)	ジャージャーめん (3)	キーボード (2)	フレーバー (2)
アイスクリーム (8)	スタイル (3)	キッチン (2)	ベース (2)
メニュー (8)	ストープ (3)	キロ (2)	ポイント (2)
アルバイト (7)	スナック (3)	クリーム (2)	ボス (2)
スイーツ (7)	ソーセージ (3)	グルメ (2)	ポスター (2)
イベント (6)	タピオカ (3)	ゴム (2)	ホテル (2)
インターネット (6)	チャンス (3)	コントロール (2)	ボリューム (2)

コロナウイルス (6)	チョコレート (3)	コンピューター (2)	マニキュア (2)
牛肉スープ (5)	デート (3)	サイン会 (2)	メーカー (2)
ケーキ屋 (5)	ドラマ (3)	ショート (2)	ラーメン屋 (2)
シェア書店 (5)	ドリンク (3)	ショック (2)	ライトミール (2)
シンプル (5)	パクチー (3)	スイーツショップ (2)	ラテ (2)
ティラミス (5)	バスケットボール (3)	ストーリー (2)	リフレッシュ (2)
デザイン (5)	バリスタ (3)	ストーリーブック (2)	
バス (5)	ビビンバ (3)	スリッパ (2)	
ハンバーグ (5)	ベンチ (3)	セット (2)	

3) 意見文の外来語

タイムマシン (22)	コントロール (5)	イヤホン (2)	ハグ (2)
アドバイス (21)	クラスメート (3)	グール (2)	バスケットボール (2)
チャンス (16)	コロナ (3)	コイントス (2)	ハローワールド (2)
テーマ (15)	スキル (3)	コミュニケーション (2)	ピアノ (2)
タイムマシーン (12)	トレンド (3)	シーン (2)	プロセス (2)
ストレス (9)	バス (3)	スタート (2)	ベッド (2)
キャンパス (8)	パン (3)	ステージ (2)	ポスター (2)
タイムスリップ (7)	ヒント (3)	タイムトラブル (2)	マイナス (2)
クラス (6)	ポテトチップス (3)	ダンス (2)	ミルクティー (2)
ゲーム (6)	ミス (3)	チャレンジ (2)	メッセージ (2)
コロナウイルス (5)	レベル (3)	ドア (2)	リズム (2)

表9に示した通り、体験文では、場所「ホテル」「デパート」「スーパー」、食べ物・飲み物「北京ダック」「インスタントラーメン」「ミルクティー」、交通手段「タクシー」「バス」、娯楽「アニメ」「マッサージ」および主題の旅行に関連づけの「スポット」「リラックス」などの外来語が頻繁に使用される。

一方、説明文では、主題である「行きつけの店」を描写するために、店の種類を表す「コンビニ」「レストラン」「スーパー」「パン屋」などの外食関連の語が目立ち、食べ物・飲み物の「コーヒー」「ラーメン」「ミルクティー」「ケーキ」などの語の使用も数多く見られた。また、店に関わる人「オーナー」、店と一緒に行く人を表す「ルームメイト (ルームメート)」「クラスメート」などの使用が多く観察された。

これに対して、意見文では、外来語の使用は前記の二つのジャンルに比較すると、数が全体として少なくなる。「ミルクティー」「コーヒー」のような日常生活に馴染みの高い、具体性のある外来語の使用が減る代わりに、「レベル」「リズム」「プロセス」のような抽象性のある外来語の使用が見られた。また、意見文のため、主題を説明したり、自分の意見を主張したり、自分の考えを述べたりするような外来語の使用も多い。例えば、「タイムマシン」「タイムスリップ」「テーマ」「コントロール」「チャンス」「アドバイス」などが頻繁に出現した。

以上を踏まえ、次に示す例(4)(5)(6)では、使用頻度の高い外来語が含まれる各ジャンルの例文で、上記で示した傾向を確認する。

例 (4)

体験文：「思い出の旅行」

ホテルの部屋に入って彼を見たら驚かされて「誰？」と叫んでしまいました。

(CCG017_1 年次前半)

もうネットでチケットの予約しましたが、学校から駅まで少し時間がかかるので、バスに間に合うには早起きしなければなりませんでした。

(CCG027_2 年次前半)

例えば、バスに乗って筏の出発点について、私たちは6人で筏に乗りました。

(CCG003_3 年次前半)

3年間の体験文にある外来語を見ると、旅行の「場所」、旅行の「交通手段」および旅行活動に関連する外来語の使用が散見された。

例 (5)

説明文：「行きつけの店」

ふとコーヒーを飲みに来たら、同じ高校三年生がたくさんここで勉強していました。

(CCG049_1 年次中間)

なぜなら、そこでおいしいパンやケーキを安く売っているんですから、
ある時まで私のルームメイトは私にこの福建の特色の軽食店を推薦して、それから私に福建の美食を好きにさせました。

(CCG006_3 年次中間)

説明文でも同様に、テーマの店にある「食品」、店に「付き合う人」など、テーマに関連している外来語を使用している。

例 (6)

意見文：「過去と未来」

5年後の自分にあえるチャンスがあれば、それはラッキーなことです。

(CCG006_1 年次後半)

今、私は君にアドバイスを教えてあげます。

(CCG013_1 年次後半)

とはいえ、世の中に後悔薬もタイムマシンもありません。

(CCG035_2 年次後半)

さらに、未来の自分に会うことは私のモチベーションを高めるだろう。

(CCG002_3 年次後半)

意見文の外来語使用の特徴については、前述したように、抽象性があり、テーマの説明、意見・考えの主張などを行う外来語の使用が目立つ。

8. まとめと今後の課題

以上、本研究では、縦断的な作文データに基づき、中国人日本語学習者の外来語の使用実態を年次別・ジャンル別の視点から、量・質の両面で分析した。

その結果、まず年次別について次のことがわかった。外来語の使用量については、作文では、外来語の使用語数が全般的に少ない。延べ語数は1年次と2年次の間はさほど変わらないが、3

年次に入ると増加が見られ、異なり語数については、学習歴の伸長とともに増える傾向が見られた。そうした習得の背景には、日本語の学習時間の増加につれて、習得された外来語のバリエーションが豊富になり、同じ外来語の反復使用を避け、バランスを取りながら外来語を使用する意識が強くなると考えられる。一方、使用の特徴から見ると、学習者の学年が上がると、使用できる外来語のカテゴリーが広くなると同時に、同じ物事を描写する際でも、下位概念で細かく描写することも、反対に上位概念で抽象的に説明することも上手くなる。学習歴が長くなると、日本語の語彙知識が量・質ともに豊かになり、そうした豊富な語彙知識を生かして、適切な語彙表現でより正確に作文を書く意識が強まるためと推察される。

ジャンル別に見ると、説明文、体験文、意見文の順に外来語の使用が多い。また、ジャンルごと、テーマごとに、出現しやすい外来語の意味領域に違いがあることも観察された。このことから、日本語教師は学習者の学習段階に応じて、どのような外来語を学習者に習得させたいかを考えて作文のジャンルやテーマを設定すると同時に、作文のジャンルやテーマに合わせた外来語の指導法を考え、適切な使用が可能になるように工夫して教える必要があると思われる。

今後は、分析対象に4年次のデータを加え、学習者の使用実態をより明確にしていく。分析を行う時、外来語の使用に不自然なところがあるため、誤用分析の併用が欠かせないと思われる。さらなる課題として、中国語を母語とする学習者に限らず、母語の異なる学習者や、日本語母語話者のデータを集め、分析を継続していきたい。

参考文献

- 荒川惣兵衛 (1943) 『外来語概説』 東京：三省堂。
石野博史 (1983) 『現代外来語考』 東京：大修館書店。
石綿敏雄 (2001) 『外来語の総合的研究』 東京：東京堂出版。
金愛蘭 (2009) 「日本語語彙における『外来語の基本語化』」 『日語日文学研究』 69: 3-21。
国立国語研究所 (1964) 『現代雑誌九十種の用語用字 第3分冊 分析』 (国立国語研究所報告 25) 東京：秀英出版。
国立国語研究所 (2017) 『現代雑誌の語彙調査 1994年発行70誌』 (国立国語研究所報告 121) 東京：国立国語研究所。
陣内正敬 (2008) 「日本語学習者のカタカナ語意識とカタカナ語教育」 『言語と文化』 11: 47-60。
鄧琪 (2018) 「中国人日本語学習者の外来語使用に対する一考察：「多言語母語の日本語学習者横断コーパス」を用いた調査をふまえて」 *Learner Corpus Studies in Asia and the World* 3: 241-261。
戸田貴子 (1999) 「日本語学習者による外来語使用の実態とアクセント習得に関する考察：英語・中国語・韓国語話者の会話データに基づいて」 『文藝言語研究. 言語篇』 36: 89-111。
橋本和佳 (2008) 「現代日本語における外来語増加の S-curve モデル：大正から平成までの社説の通時的調査を通して」 博士論文, 同志社大学。
羅涓立 (2010) 「カタカナ語の習得についての事例研究：LARP at SCU による縦断的資料の分析から」 『台湾日本語学報』 27: 219-240。

The Use of *Gairaigo* in JFL Learners' Writing: Analysis of a Longitudinal Corpus of Chinese Native Speakers

WU Mei

Graduate Student, Meiji University / Project Collaborator, NINJAL

Abstract

This study aimed to elucidate the process of acquiring *gairaigo* using a longitudinal writing corpus of Chinese Japanese language learners. Three writing datasets comprising samples from freshmen, sophomores, and junior year learners were analyzed, yielding the following conclusions: (1) Type and token frequency increased with the students' level of study; (2) also according to the students' level of study, the semantic aspects of *gairaigo* showed changes in usage characteristics; (3) *gairaigo* words were most frequently used in explanatory sentences, followed by experience sentences, and lastly, opinion sentences; (4) across all genres, the *gairaigo* words used were related to the composition's theme.

Keywords: CJL learners, learners' corpus, writing education, *gairaigo*, vocabulary selection